



郵便
報知新聞
 第四百八十四号

讀及池原村の農作次郎が身千代吉の眼明き
 多し物なるこの不自由な世に於ては
 思ひ居るふ慶應三年十六寸ぬ家出で
 帰らざれば母のふく案一諸所方々尋るが
 絶て影さふえさうに明治二年同國湯月町
 の路傍入の乞食ありて是れも我子に
 似され其名を問ふ千代吉と答へ年を問ふ
 廿歳と云れれ今疑ふがは我子なりと
 否左非すとつむを強て我家へ連之じ
 至極素直と能く更て稼きえねば
 喜びあり然るに吹明治七同國菊間村の
 遍照院へ忍び入へ賊捕り月を乳さるに
 池原村作次郎身千代吉と云依て作次郎方
 尋るに千代吉の家あり西人衝合て乳を
 盗せる千代吉の作次郎へ尋るなりと



金福堂

大橋
 片田彰長

